

(別紙4(2))

事業所名: 有限会社 グループホームゆうゆうてらわき

目標達成計画

作成日: 令和 元年 10月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束については、毎月の職員会議や2か月に一度開催の運営推進会議で議題として話し合いを設けて記録に残しているが、委員構成や定期的に委員会は開いていない。	委員を構成し、定期的に身体拘束適正化について会議、話し合いの機会を設ける。	次回(11月)の運営推進会議で委員会構成について話し、委員を決め、早速11月より身体拘束適正化の基礎理念から勉強し、当事業所の身体拘束の有無の報告、やむを得ない場合の必要性などについて話し合いをしていく。	6ヶ月
2	19	利用者ご家族へ電話や文書で近況報告をしたり、ご家族からの意見や要望を伺ったりしているが、ここ2年ほどは実際の写真やコメントなど、新聞、お便りが配布できていない。	2年ほど休止していた「ゆうゆうてらわき便り」を作成。各ご家族に配布、郵送する。年に二回を目標とする。	来年一月号を初回発行目標に、今年春から夏のバーベキュー、年末年始の様子などを新聞にし、発行。	4ヶ月
3	1	毎日の朝礼で職員は理念を唱和し、理念に基づく支援を心掛けているが、職員一人一人はどのようなことを念頭に毎日業務に携わっているか具体的な目標がない。	職員は事業所の理念を把握し、理念に基づく目標を決め、毎日の業務を目標達成への支援につなげていく。	毎月の職員会議で各職員は理念に基づいた支援の「私の目標とすること」を発表する。1か月後の職員会議で結果報告、反省点や勉強になったことなどを話し合う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。